

# 2023年10月以降の ヨルダン川西岸での生活

挑戦、苦闘、そして回復力

# 背景と経緯

- イスラエル占領軍は10月10日、ガザに対する大量虐殺戦争を開始した。
- 国連人道問題調整事務所（OCHA）によると、44,000人以上のパレスチナ人が死亡し、106,000人以上が負傷したと報告されている。
- 避難民については、ガザの人口の約90%にあたる約190万人が避難し、十分なシェルター、食料、救命医療サービスを受けられなくなっている。

私たちは、イスラエルの占領が76年間も続いており、虐殺と強制移住に満ちていることを忘れてはならない。



## チェックポイントと日常生活の分断

- 軍事検問所の増加：常設検問所、臨時検問所、土塁、道路ゲート、道路封鎖を含む。
- 学校、病院、職場へのアクセスへの影響。
- その結果、パレスチナ人は仕事や学校、医者への予約に遅刻し、緊急援助や出産のための救急サービスが妨害されることさえある。







## 土地と資源の喪失

- イスラエル当局による土地没収の拡大。過去1年間に数万ヘクタールの土地が接収された。
- 入植地と前哨基地の拡大。2023年10月以降、43の前哨基地が新たに設置された。
- パレスチナ人家族の移住と農地の喪失。入植者の暴力と取り壊しにより、ヨルダン川西岸で8,100人のパレスチナ人が避難した。



## 入植者による攻撃の激化

- パレスチナ人を標的にした暴力事件が増加、過去1年間で1,400件の入植者による襲撃事件が発生。
- 家屋、自動車、オリーブ畑などの財産の破壊。イスラエル占領軍は2023年10月以降、ヨルダン川西岸地区で2705棟のパレスチナ人所有の建造物を取り壊された。
- パレスチナ人コミュニティに対する説明責任と保護の欠如。



## 経済崩壊と生活課題

- 移動の制限や入植者の暴力による収入の損失、事業の閉鎖、市場へのアクセスの低下。ヨルダン川西岸地区では29%以上の事業が閉鎖された。
- 2023年10月以降、50万人以上の雇用が失われ、失業率は35%に達している。